

## 分子遺伝学、遺伝子検査学 I・II

2年次【前期】～2年次後期、4年次前期 片岡佳子、櫻井明子

ここで紹介された資料は**蔵本2階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。  
(同じ本が3冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

### 図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を参考にしましょう

□ **細胞の分子生物学 第6版 / 監訳 中村桂子・松原謙一 Newton Press 2017**

→ 「ゲノムを持つ細胞に関する生物学が見事に整理された(まえがきより)」分子生物学の教科書。近年の新しい研究手法の開発・改善によって得られたたくさんの知見が豊富な図表とともに盛り込まれている。生物の基本を深く理解するために必須の教科書。 【463||Sa】

□ **重要ワードで一気わかる分子生物学超図解ノート 改訂版 / 田村隆明著 羊土社 2011**

→ 分子生物学のキーワードごとに、見開き2ページでその重要ポイントと基本情報+トピックスが盛り込まれている。キーワードを順番にたどっていくと、細胞の全体のしくみが見えてくるように書かれている。効率よい学習により、初学者の理解を助けるためのサブテキスト。 【464.1||Ta】

□ **医歯薬学系学生のためのビジュアル生化学・分子生物学 改訂第3版 / 大塚吉兵衛、安孫子宣光共著 日本医事新報社 2011**

→ 分子生物学で学ぶ対象は分子レベルであり、分子の構造と分子どうしの相互作用をイメージすることが生命現象を理解することにつながる。本書ではビジュアルなイラストが多く盛り込まれ、初学者が、生命現象のしくみについてイメージを膨らませ、楽しみながら学べるようになっている。初学者の理解を助けるためのサブテキスト。 【491.4||Ot】

□ **カラー図解 基礎から疾患までわかる遺伝学/ 新川詔夫、吉浦孝一郎監訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2009**

→ 遺伝医学の概説書であるが、ヒトを含めた生物の基本的な知識を広くカバーしており、また、遺伝子変異がどのように疾患に結びつくのかについても、症例を含む図表を見ながら詳しく学ぶことができる。 【467||Pa】

□ **一目でわかる臨床遺伝学 第2版/ 古関明彦監訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2014**

→ 臨床遺伝医学の入門書。遺伝子解析技術の進歩によって、医療と遺伝学との関連はますます深くなっており、遺伝子に関わる疾患の診断や治療においては、臨床遺伝学の基礎の理解が重要です。 【491.69||Pr】

□ **遺伝子検査技術 -遺伝子分析科学認定士テキスト- 改訂第2版 / 日本遺伝子分析科学同学院編集 宇宙堂八木書店 2016**

→ 遺伝子検査に必要な医学的知識と遺伝子検査技術に関する基礎的な知識・手技に関するテキスト。検査専攻2年次の「遺伝子検査学I」の講義の際に受験を進めている“遺伝子分析科学認定士(初級)”認定試験の筆記試験はこのテキストから出題される。 【491.69||Id】